

はじめに

2010年は、国連の定めた『国際生物多様性年』にあたります。

10月には、日本を議長国として、締約国193カ国及び国際機関などが参加する生物多様性条約第10回締約国会議が開催され、世界の生物多様性を保全するための具体的な取り組みについての議論が行われる予定です。多くの生物が絶滅の危機にある現在、私たち自身も地球生態系の一員であることを今一度深く自覚しなければならないと日々感じています。



本市には、都心から約1時間という立地にもかかわらず、植物種は日本一を誇る約1,600種が自生し、その他多種多様な生き物が共存している生物多様性の宝庫である高尾山があります。この高尾山をはじめ、多様な生き物がすむ水とみどりの豊かな環境を皆さんと一緒に未来へ守り伝えていくことが私たちの使命であると考えます。

本市では、このすばらしい自然を後世に守り伝えていくために、市民・事業者の皆さんと力を合わせて環境への取り組みを続けてきましたが、この度、環境を取り巻く情勢の変化や新たな課題に対応すべく、平成20年度、21年度の2年間をかけて、環境に関する4つの計画の策定・見直しを行いました。策定にあたっては、非常に多くのご意見をいただき、皆さんの環境への思いの強さを実感しました。今後、この新たな4つの計画にもとづき、皆さんと一丸となって八王子の環境保全に取り組んでいきます。

また、本市では、平成16年にごみ有料化を実施し、市民の皆さんのご理解、ご協力により、大幅なごみ減量を達成することができました。本年はさらに、ごみ減量に向けた新たな取り組みとして、10月から廃プラスチックの資源化拡大と資源物の戸別回収を実施します。皆さんのさらなるご理解とご協力をよろしくお願いします。

この「八王子市環境白書 2010」を通して、本市の環境の現状や市民・事業者の皆さんとの協働により行われてきた環境への取り組みを知っていただき、さらなる環境保全の取り組みを進めるための一助にいただければ幸いです。

平成22年10月

八王子市長

黒須 隆一